



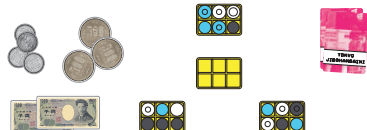
プレイ人数: 1人
時間: 5~10分

デザイナー: トラヴィス・D・ヒル
ゲームの種類: 分別、パズル

誰かがドリンクをばらばらに混ぜてしまいました。制限時間内にドリンクを正しいボトルクレートに分類してください!

セットアップ: ボトルクレート3箱を自分の前に三角形に配置し、その中央に4箱目のボトルクレートを置きます。それから100円硬貨を4枚積、500円硬貨を3枚、1000円硬貨を2枚積み上げます。ストックカード12枚を取り、そこからランダムに選んだ色カード3枚(および該当するドリンク)を取り除き、箱に戻します。残りの9枚のカードをよく混ぜて裏向きの山札にします。残りのドリンク(3色×6本)をすべて取り、外周のボトルクレート3箱の中にランダムに入れます。自動販売機をランダムマイザーとして使用することもできます!各ボトルクレートに同じ種類のドリンクが4本以上入っていないことを確認してください。4本以上ある場合には、ボトルクレート間でドリンクを交換し、同じ種類は3本以下にしてください。

ゲームプレイ: 山札の一番上のカードを表向きにし、カードに指示されている形状や色のドリンクを他のボトルクレートの空きスポットに移動します。移動先のボトルクレートでは、現在のボトルクレート内と同じ位置にドリンクを置きます。



例: 「ずんぐりした缶」のカードを引きました。緑色の「ずんぐりした缶」を現在のボトルクレートの左上から取り出し、別のボトルクレートの左上に置きます。ドリンクは、ボトルクレート4箱のいずれかに移動できます。

引けるカードがなくなるまでこれを続けた後、ラウンドを終了します。それから100円硬貨1枚を捨て、山札をよく混ぜて新たに山札を作ります。

特別アクション: ドリンクを移動する前、移動中、または移動後のいつでもお金を支払い、特別アクションを実行できます。

- 500円硬貨1枚を捨て、隣接しているボトルクレートの空いたスポットにドリンク1本を移動します。斜め移動はできません。
- 1,000円札を1枚捨て、同じボトルクレート内のドリンク2本の位置を入れ替えます。
- 所持金を使い切ると、その後は特別アクションを実行できません。

支払いを受け取る: 該当するドリンクすべてが正しいボトルクレート入っているカードを引いた場合には、そのカードを脇に置いておきます。各ラウンド終了後、カードを混ぜる前に「使用」し、特別アクション用に支払ったお金を手元に戻すことができます。カードは1枚500円と数えます。カードで100円硬貨を手元に戻すことはできません。このように複数のカードを脇に置いておき、支払ったお金を手元に戻すことができます。

例: 黄色のカードを引いたところ、黄色いドリンクはすべて外周の同じボトルクレートに入っているため、引いたカードを脇に置いておきます。ラウンド終了時に、そのカードを「使用」して、捨てた500円を元の山札に戻します。その後、カードをよく混ぜて山札に戻します。

ゲームの終了: 100円をすべて捨てた時点でゲームが終了し、あなたはゲームに負けます。ゲームに勝つには、最後の100円を捨てるまでに外周のボトルクレート3箱に各1色のドリンクしか入っていない状態になるまで3色を分けます。各クレートが完成した時点でゲームが終了します。それから自分が捨てていないお金の金額(脇に置いていたカードを含む)を数えます。これが得点となります。ゲーム開始時の所持金は3,900円ですので、その金額に近いほど高い得点となります!

バリエーションルール:

ゲームが難しすぎる場合には、100円硬貨を1枚追加することによりラウンド数を1回増やします。他のルールは変わりません。

ゲームが簡単すぎる場合には、100円硬貨を1枚追加することによりラウンド数を1回増やし、同時に、すべてのドリンクを他のクレートの同じ形状のドリンクと同じ位置に配置するものとします。**例:** 「最も長い」ボトルはすべて左上、「ずんぐりした缶」はすべて右下に配置します。

ゲームが煩雑すぎる場合には、外周のボトルクレートを埋めることで勝利するのではなく、4つのボトルクレートのうちの3つに同じ色のドリンクを配置することで勝利するものとします。

ゲームがシンプルすぎる場合には、ボトルクレートを更に1箱(または2箱)追加し、同時に色を1色(または2色)追加します。追加されたボトルクレート/色ごとに、お金の山札に100円硬貨1枚を追加します。

ゲームデザイン・アートワーク: ジョーダン・ドレイパー

ルール校正: トラヴィス・H・ヒル

日本語訳: サイゴウ

